

2025年10月1日付組織数

2,532名 (前月比-22名)

2025年1月1日付組織数2,652名



土建国保の方は必ず設立前に相談を

法人化は東京土建へ



発行所
東京土建一般労働組合
小平東村山支部
小平市仲町381番地

電話 042-342-2846

FAX 042-342-2848

発行人 染矢 憲広

ホームページ

https://www.dokenkodahiga.jp



秋の仲間づくり途中経過
(10月1日時点)

分会	成果
花小金井	3
小平東	3
美園	4
一ツ橋	0
上宿	1
小川	1
野火止	1
柳瀬	0
北山	2
南	1
事業所・直属	9
合計	25

みんなでやろう「仲間づくり」

より良い建設産業を目指した要求実現のために



チームで挑んだ最速横綱 美園分会 川合分会長が語る秘訣



↑25日には60件越えを達成

ばらばらで動くのではなく、複数人ずつの班をつくって分担し行動しました。9月19日の活動では、4班に分かれて効率的に回り、最速で横綱を達成できました。どの班がどのエリアを担当するかをあらかじめ決め、残りの日数から逆算して、「中間決起集会前には横綱になるぞ!」という強い想いで計画を立てたのです。予定に余裕が生まれた時には、その合間に事業所へ立ち寄るなど工夫して動きました。そうした積み重ねが早期達成につながったのだと思います。【美園・川合和利分会長】

8月28日から始まった秋の仲間づくり月間。「仲間づくり」とは「組合員を増やす」組合を大きくする「取り組み」です。小平東村山支部では、8月28日～10月31日までの間に93名の組合員を増やすことを目標に取り組んでいます。

東京土建は、数を力に要求を実現するとともに、仲間の仕事と暮らしをサポートする制度をつくりあげてきました。仲間の数が減ってしまえば、要求は実現しづらくなり、制度の維持も難しくなってしまう。だからこそ、組合にとって「仲間づくり」は重要な取り組みなのです。

下記の行動日には、各分会センターに集まり組合員訪問を行っています。訪問時には、組合のお得情報がぎゅっと詰まった「メリット集」を配布中です。ぜひ手に取って組合メリットを知ってください。行動への参加・協力も大歓迎です。東京土建は、建設業で働く人が集まって作った、建設業で働く人のための組合です。

残り4日! センターへ!

今後の予定

10月23・24日(木・金)

10月30・31日(木・金)

※31日は打ち上げ

用水路

晩夏の富山に、今年も「おわら風の盆」を見物に行ってきました。八尾の11町それぞれの踊りを見たくて通っていますが、今年は5町分を見るのがやっとでした。人口2万人に満たない町に8万人の観光客が集まり、人をかき分けながらの鑑賞です。夕方からでしたが、歩数計は1万6千歩を記録していました。▼翌日は金沢城公園へ。今年の3月から二の丸御殿の復元工事が始まっており、全天候型の大上屋が組み立てられている最中でした。最上部で作業している職人たちに少し罪悪感を覚えて公園内を散策しました。来年もまた訪れることができるでしょうか。▼建築職人にも、しっかりとした年金や保険、介護、定年制度が整っていないば、働き詰めの一生だったと愚痴をこぼすこともなく、人生の後半を後継者育成や趣味、学びに充てられるはず。70歳を過ぎて、ようやく一泊旅行というのは、やはり少し寂しいものです。しかし、同じ井戸の中でトップを選び、その人物を大海の長に据えようとする今の政治状況では、実現は難しいのかもしれない。(北山・前)

PALの会では9月7日に小平市のたけのこ公園でBQ交流会を開催しました。当日は10時開始でしたが、9時過ぎには1人2人と各分会の仲間が集まり始め、最終的には37名(組合員20名・家族17名)と過去最高の参加人数で大盛況となりました。また、今年も美園分会の川合副会長の招待で、松本洋平衆議院議員、竹井ようこ都議や小平市の小林洋子市長、三



↑議員の方々と意見交換する委員長とPAL役員

輪ひろみ市議が参加、近い距離間で意見交換をすることができました。PALの会恒例イベントの「愚痴タイム」では、野火止分会の及川さんを筆頭に参加者が次々と愚痴を披露。もちろん議員さんも例外ではありません。当日参加していた井上委員長への「お願い」もありました。

遅れましたが、今回の交流会にご協力いただいた皆さん、ありがとうございます。小川分会の中林さん自前の新鮮な野菜も最高の美味しさでした。今後PAL活動を盛り上げ、現場改善など



PALってなに?

Powerful Active Leaders

ゼネコンや住宅会社などが元請を務める建設現場で働く仲間によってつくられた運動体です。賃金・単価を引き上げ、よりよい労働環境を実現するために活動しています。現場の仲間から寄せられる声をもとに、4月と10月に大手企業と交渉し、休憩所やトイレの設置、安全対策の不備、無理な短工期やパワハラなど、現場で起きている問題の改善を勝ち取ってきました。

PALバーベキュー交流会開催!!

こだひが会2025part②

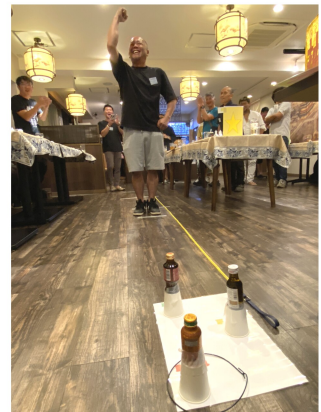
名刺交換と交流で仲間の輪広がる



会場は前回と同じ久米川駅近くの中華料理店を貸し切りに。初参加者を含めて総勢26人が集まりました。毎年恒例の自己紹介からスタートし、同じ組合員同士ということもあり、和気あいあいと肩肘張らない雰囲気では始まりませんでした。各テーブルでは仕事の話、組合

いつも東京土建の活動にご理解・ご協力ありがとうございます。後継者対策部主催で毎年開催している、名刺交換もできる飲み会「こだひが会」を、今年は9月6日に開

催しました。例年は年度末の2月に行ってきましたが、年度末は繁忙期ということもあり、後継者対策部で話し合いの結果、今回初めて9月に開催することとなりました。



←輪投げ大会で大活躍の矢澤さん

の話、趣味の話と、にぎやかな声飛び交い、テーブルチェンジ後も笑い声が絶えませんでした。会の中では「組合に興味を持つている知り合いがいる」という情報も寄せられ、組合員拡大にもつながりました。

終盤には恒例の「QUOカード争奪くじ引き大会」を実施。たいへん申し訳ないことに、一等を

自分が引き当ててしまいうハブニングもありましたが、参加者全員の手元に何らかの景品が届き、大いに盛り上がりま

間とのつながりが生まれ、楽しいひとときとなりました。今後も継続して開催し、次回はさらに多くの組合員と交流できることを願っています。なお、会の終了後には二次会も開かれ、最後までにぎやかな一日となりました。【後継者対策部長・山内勝行】

群会議の窓

①小川分会

10月号から、新しいコラム「群会議の窓」が始まります。各分会が持ち回りで、群会議の様子や雰囲気、工夫している点などを紹介します。



↑10群の10分間群会議の様子

第1回は小川分会の群会議の様子をお届けします。小川分会では、9つある群のうち5つの群が10分間群会議を行っており、残る4つの群も開催に向けて前向きに検討をしています。今回は、すでに9月に行っている9群・10群の9月の取り組みを紹介し、まず会議の冒頭では、組合費の完全納入のお願いや、秋の仲間づくりキャンペーンへの参加呼びかけがあり、「横綱を目指して頑張ろう」といった声も出しました。◇また支部機関紙に出陣式の写真が掲載されていたことに、参加者からは喜びの声が上がりました。◇続いて、タチヒビーチBQへの参加要請や、健康診断は必ず受けようという呼びかけが行われました。

◇情勢学習では、ガソリン暫定税率の問題について意見を交わしました。◇さらに、横浜でのバスレク企画が紹介され、タイムスケジュールを見ながら盛り上がりました。「ハマスタ見学はないの?」「野球を観たい!」

「10分間群会議ってどんなことをしているの?」「他の分会ではどんな話をしているの?」「そんな疑問に答え、仲間の活動を知りたい」と思っています。

「10分間群会議ってどんなことをしているの?」「他の分会ではどんな話をしているの?」「そんな疑問に答え、仲間の活動を知りたい」と思っています。

お知らせ

■集団健康診断

◇小平市・みその診療所

11月9日(日)10/30㍻切

◇東村山市・北多摩生協診療所(託児所設置)

11月30日(日)11/20㍻切

申込は所定用紙または支部HPで受け付けております。

■税制学習会

「税の在り方や働き方について考えよう」

10月29日(水)19:00~

会場:支部事務所2階(WEB併用)

講師:税理士・高橋紀充さん

申込は事務所までFAXまたはお電話ください。